

猪名川町地域公共交通実施計画(案)に対する パブリックコメント及び町の考え方

意見募集期間:令和6年1月1日~1月31日

意見提出者数:4人

提出意見数:4件

■猪名川町地域公共交通実施計画(案)について提出された意見の概要と町の考え方

番号	意見提出者	章	該当箇所	意見の概要	意見に対する考え方(対応)
1	1			<p>計画案全般についての意見を述べさせていただきます。</p> <p>令和5年12月19日の交通会議にも傍聴で出席いたしましたが、従来から北部地区の阪急バス杉生線の路線限定の課題に集約されてしまっていることにとても違和感を感じています。もちろん杉生線の存廃も大事ではありますが、川西能勢口方面の阪急バス路線での課題にも踏み込んだことを取組まれないのでしょうか。猪名川町内で人口比率の高いニュータウン（猪名川パークタウン、つつじが丘）の住民は現役世代も多く、阪急バス路線が重要な足となっているにもかかわらず、従来より、住民、利用者の意見や課題が吸い上げられてこなかったと認識しています。現実には、子供たちが町外の高校、大学への進学などでの通勤・通学で、アクセスの悪さ（所要時間、運賃により）、若年層から将来の居住地としての猪名川町が敬遠される傾向が強く、将来に渡っての人口流出の大きな懸念事項となっております。従って、北部地区単一の町域路線だけでは無く、ニュータウン（猪名川パークタウン、つつじが丘）から能勢電鉄との接続駅日生中央駅方面の阪急バス路線の利便性向上（運賃軽減、フリークエンシーなど）や、川西能勢口方面の路線の利用者の不満事項の聴取や意見交換について早急に行うべきではと思います。川西能勢口方面阪急バス路線の朝の混雑時の慢性的な川西市内での渋滞や事故による遅延は、単なる川西市の問題ではなく、川西能勢口方面阪急バス路線の利用者の多い猪名川町民にも重大な影響がある課題として、川西市や事業者としての阪急バスと連携して課題解決に取り組む公共交通案件であると思いますので、猪名川町としても積極的に関与することを求めたいと思います。</p>	<p>ご意見のとおり、地域公共交通計画には、杉生線だけでなく、猪名川パークタウン線や日生ニュータウン線についても路線維持をはじめ路線の維持・効率化に向けた検討を行うことを記載しておりますが、その中でもとりわけ交通事業者から廃線も含めた協議の申し入れを受けている杉生線を維持することが喫緊の課題となっていることから、この度の実施計画には杉生線に限定して見直しの方針を記載しているところです。</p> <p>当町は阪神地域のベッドタウンとしてニュータウン開発が進んだこともあり、朝は川西能勢口駅に向かう利用者が多く、夕方には川西能勢口駅から当町に向けた利用者が多い一方で、同時刻の逆方向への移動は利用者が少ない状況となるため、利用者が多く見える猪名川パークタウン線においても収支が合わない、つまり赤字路線となっております。町内のその他の路線についても黒字路線はなく、全て赤字路線となっております。そのため、路線を維持していくためには、今後杉生線以外の路線についても見直し等の検討を行っていくことにならうかと思っております。その際には、ご意見のとおり、利用者のご意見を踏まえ、交通事業者と協議してまいります。</p> <p>また、ご意見のとおり朝の慢性的な渋滞等の課題解決のためにも、自家用車の利用ではなくバスの利用をしていただくことで、渋滞解消及び路線維持につながると考えますので、バスの利用促進についても、路線の見直しと併せて、事業者並びに近隣市町と協議してまいります。</p>

2	2	4	39	<p>杉生新田地区のチョイソコを、「火・木・土」→「月・水・金」へ変更をお願いします。</p>	<p>大島地区におけるチョイソコいながわについては、杉生線の見直しに係る意見交換会において、一部の地区を除いてチョイソコいながわよりも定時定路線型のバスを望む声が多くありました。そこで、チョイソコいながわの運行エリアを大島地区から、杉生新田・旭ヶ丘に変更するとともに、町の南部地域を運行エリアに加える検討をしております。なお、運行エリアが拡大するため、1運行に係る距離や時間が延び、効率的な運行が難しく、サービス水準が低下することも考えられることから、運行日を北部地域と南部地域に分けて検討を行っています。</p> <p>次に、チョイソコいながわの運行日は、現在の週6日から、月・水・金及び火・木・土に分けて運行しようと考えております。北部地域の住民意見交換会において、ふれあいバスが運行しない土曜日の移動手段の確保を求める声があったことを踏まえ、土曜日を北部の運行日として検討したため、杉生新田・旭ヶ丘地区では火・木・土をチョイソコいながわの運行日としたいと考えております。</p> <p>ご意見では杉生新田地区のチョイソコいながわの運行日を「月・水・金」に変えてほしいとのことですが、上記の理由から、地域公共交通実施計画案のとおり「火・木・土」で運行する予定です。</p> <p>ただし、今後においては、見直し案を導入した後の利用状況なども鑑みながら、運行日や運行エリアについて、事業者と共に柔軟に検討をしてまいります。</p>
---	---	---	----	---	--

3	3	<p>北部、「阪急バス杉生線」や「ふれあいバス」「チョイソコいながわ」について見直す根拠はそれらの利用者数が増加する見込みが無いことが大きな要因であると考えられる。</p> <p>「阪急バス杉生線」は「過疎」とは認定されていないが実質過疎地域である北部の住民にとって命綱であることは論を待たない。</p> <p>北部の人口を増やす政策が必要ではあるがドラスティックな解決策があるとも思えず、「ふれあいバス」や「チョイソコいながわ」でその不便を補うことは現状、やむを得ないと思う。</p> <p>ただ、この件に関わる住民説明会などで吸い上げた住民の「意見」を叩き台にしてきめ細やかな調整と思い切った判断は必要になるだろう。</p> <p>例えば</p> <ul style="list-style-type: none"> ・清陵中学校の通学バスを廃止し阪急バスを利用する ・大野山の観光地化をより進め、日生中央からの主たるアクセスを阪急バスに定める <p>などを行政担当課の枠を超えて議論して推し進めて欲しい。</p> <p>総論として町に基幹交通網は「必要」である。</p> <p>それが「阪急バス」なのか、例えば「地域ボランティアタクシー」のような違う「仕組み」なのか、いくつかの方法を共存させるのか。営利企業である阪急バスとの調整が必要な懸案ではあるが、町の方針を早く定めて実行、調整しないと北部は医療に繋がる事案、日々の生活に繋がる事案など大きな負担と不便を強いられることになるかと危惧する。</p> <p>また、この問題は町内全域に関わる問題であることも認識しておきたい。</p> <p>南部に在住する者、北部に在住する者といった切り分けにあまり意味は無く、全ての住民が「我慢」や「負担」をどれくらい許容できるかの問題であると思う。</p> <p>行政の住民に寄り添った施策、立案を期待する。</p>	<p>ご意見のとおり、杉生線については、北部の住民にとって必要不可欠であるものと認識しており、地域公共交通計画においても、杉生線を町内各地域と猪名川町中心部等とのアクセスに重要な役割を担う「町内基幹交通」として位置づけており、その維持を行っていきたいと考えております。</p> <p>しかしながら、杉生線の利用状況から見ると、ほとんど利用の無い便もあることを踏まえ、現状を維持するものではなく、持続可能性を考慮した減便案等をもって住民との意見交換会を開催し、ご意見をいただき、可能な限りそのご意見を地域公共交通実施計画案に反映してきたところです。</p> <p>ご意見のとおり、杉生線をバス以外のモードへ転換させることやバスとそれらの組み合わせ等は考えうるものではありますが、現段階においては、1便に10人以上乗車されている便も複数あることから、大量輸送が可能なバスが望ましいものと考えております。</p> <p>他にも、担当課の枠を超えて議論を推し進めてほしいとのご意見をいただいておりますが、おっしゃるような公共交通とその他の施策は密接に関連しており、横断的な連携や協議が必要になると考えます。</p> <p>これまでも、杉生線の見直しに関しては、関係各課に情報提供を行い、協議を行ってきておりますが、今後においても連携を強化しながら、地域公共交通の維持・確保に努めてまいります。</p>
---	---	---	--

4	4	<p>住民の多種多様の要望を全て取り入れる必要は無いと思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●安く移動(交通機関の利用)したい ●目的地に直行したい ●早く到着したい <p>など。</p> <p>ある場所からなら、どこにでも行けるというターミナル的な場所に継なく交通機関を行政は考えるべき。</p> <p>そうでないと、チョイソコもふれあいバスも利用者層が薄くなる。</p> <p>東側は日生中央、西側はイオン、北側は紫合。</p> <p>そこから、阪急バスで目的地に行く。</p> <p>不便を感じるが、乗り換え割引など導入出来ればありがたい。</p> <p>紫合については簡易バスターミナルがあれば利用しやすいし、付近に診療所など開院され医療村になるかもしれない。</p> <p>今後の暮らしも考えて地域交通を考えて欲しい。</p> <p>以前に参加した杉生線バスの懇談会ででた意見は、今回の改正にどのように反映されているかが知りたい。住民の意見を聞いただけでは、終わって欲しくない。</p> <p>北部の朝夕の通勤通学の阪急バスは、絶対に確保して欲しい。</p>	<p>地域公共交通計画及び地域公共交通実施計画（案）ともに、路線バスやコミュニティバス、鉄道、デマンド交通、タクシーなどを交通結節点において連携させることで、効率的な交通ネットワークの構築を目指しております。</p> <p>乗り換え割引等の料金施策については、利用促進につながるかと考えられますが、事業者が異なる場合、割引原資をだれが負担するのか、乗り換えしたことをどのように証明するのかなど、解決しなければならない課題もあることから、今後、事業者と共に実現可能性も含めて検討してまいります。</p> <p>また、ご意見にもあるとおり、住民意見交換会でいただいた全てのご意見を反映させることはできませんが、利用しづらい路線になることで、更に利用者が減少し、その結果、路線を維持できなくなると考えられることから、利用者が利用しやすい環境を整えるべく、可能な限りいただいたご意見を地域公共交通実施計画（案）に反映させております。</p> <p>意見交換会での杉生線見直し案に対する意見を受けて、実施計画案に反映した主な内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 高校生の通学手段の確保のため、通学時間帯の運行便を1便増便し、現行ダイヤと同じ時間に運行するダイヤ案に変更しています。 ・ 杉生新田は定時定路線のバスではなく、デマンド交通チョイソコいながわを望む声があったため、チョイソコいながわを運行継続するものとし、火・木・土を運行日としています。 ・ 旭ヶ丘は、ふれあいバスを望む声がある一方、土曜日やふれあいバス以外の時間帯の移動手段の確保を求める声があったことから、ふれあいバスに加え、試験的にチョイソコいながわを火・木・土に運行するものとし
---	---	---	---

					<p>す。ふれあいバスとチョイソコいながわのどちらのモードが地域にとって望まれているのかを確認したうえで、いずれかのモードに統一していきたいと考えています。</p> <ul style="list-style-type: none">• チョイソコいながわのエリアを北部地域と南部地域に拡大することで、運行エリアが拡大するため、1運行に係る距離や時間が延び、効率的な運行が難しく、サービス水準が低下することから、運行日を北部地域と南部地域に分けて検討を行っています。
--	--	--	--	--	---